

【各火山の活動解説】

各記号の意味は次のとおり。▲：噴火が観測された火山。●：活動が活発もしくはやや活発な状態である火山。◇：静穏な状態であるが観測データ等に変化があった火山、もしくはその他の記事を掲載した火山。

● 雌阿寒岳 【やや活発な状況】

18～19日（前期間）に多発した火山性地震は、その後回数は減少したものの、27日に18回観測されるなど引き続きやや多い状態が続いている。火山性微動は観測されなかった。監視カメラ（火口の南南東約16kmに設置）による観測では、噴煙の高さは火口縁上概ね100mで推移し特段の変化はなかった。

● 十勝岳 【やや活発な状況】

62-2火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、噴煙の高さは火口縁上概ね200mで推移した。噴煙の状況に特に変化はみられていないことから、同火口の熱活動にも大きな変化はなく、高温の状態が続いていると推定される。

● 樽前山 【やや活発な状況】

今期間、A火口及びB噴気孔群の噴煙の状況に特に変化はみられていないことから、これらの火口の熱活動に大きな変化はなく、依然として高温の状態が続いていると推定される。

● 浅間山 【やや活発な状況（レベル2）】

山頂火口からは白色噴煙が連続して噴出しており、噴煙高度は火口縁上概ね100mで推移した。また、今期間は天候不良の日が多かったこともあり、火映は観測されなかった。

火山性地震はやや多い状態が続き、1日あたり32～82回で経過した。火山性微動は24日に1回、25日に3回観測された。

傾斜計およびGPSによる地殻変動観測では特段の変化はなかった。

◇ 伊豆東部火山群 【静穏な状況】 <期間外の記述を含む>

前期間から伊東市周辺で地震活動が高まったが、火山性微動及び低周波地震は観測されず、火山活動は静穏な状態が続いている。

前期間の2月21日昼頃から発生し始めた伊東市街の北東沖、深さ7～10km付近を震源とする微小な地震の活動は、発生回数は減少しているものの、3月3日未明現在も続いている（これまでの最大地震は2月23日05時35分（前期間）に発生したM（マグニチュード）2.2（暫定））。この活動に伴って、東伊豆町に設置している体積歪計ひずみや伊東市に設置されている防災科学技術研究所の傾斜計にわずかな変化がみられていたが、今期間は降雨の影響もあり、顕著な変化はみられなかった。

また、2月25日から伊東市大崎の北、深さ5～8km付近を震源とする地震が発生し始め、25日10時22分に発生したM2.8（暫定）の地震により、熱海市網代で震度2を観測した。この付近の地震活動も、発生回数は少ないものの3月3日未明現在も続いている。

さらに、伊東市宇佐美付近を震源とする地震が28日6時～8時にかけて、一時的に増加した。最大地震は28日06時48分に発生したM2.7（暫定）で、この地震により熱海市網代で震度2を観測した。主な地震の震源は2～5kmと浅いものであったが、火山性微動及び低周波地震は観測されなかった。

● 三宅島 【やや活発な状況】

今期間、噴火は観測されなかった（前期間は17日にごく小規模な噴火が発生し、山麓でごく微量の降灰があった）。

山頂火口からは白色噴煙がほぼ連続して噴出しており、噴煙高度は火口縁上概ね300mで推移した。

2日に行った火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり1,100～2,100トンと、依然として多量の火山ガスの放出が続いている（前回2月13日1,300～2,400トン）。

火山性地震は少ない状態で経過し、1日あたり0～11回であった。火山性微動は観測されなかった。

● 霧島山（新燃岳） 【やや活発な状況（レベル2）】

火山性地震は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている（今期間 49 回、前期間 53 回）。火山性微動は観測されなかった。傾斜計及び GPS による地殻変動観測では特段の変化はなかった。

● 霧島山（御鉢） 【やや活発な状況（レベル2）】

御鉢火口では火口縁を超える噴気が時折観測されるなど、火山活動はやや活発な状態が続いている。28 日に火口縁上 200m の高さの噴気が観測された。

期間中、火山性地震及び火山性微動は観測されず、傾斜計及び GPS による地殻変動観測でも特段の変化はなかった。

▲ 桜島 【比較的静穏な噴火活動（レベル2）】

期間中、爆発的噴火が 1 回観測された（前期間も爆発的噴火を 1 回観測）。28 日 20 時 31 分に爆発的噴火が発生したが、天候不良のため噴煙等の状況は不明であった。この他、27 日に火口縁上 300m まで上がる灰白色の噴煙が観測されるなど、ごく小規模な噴火も発生したが、期間中、鹿児島地方気象台（南だけの西南西約 11km）で降灰は観測されなかった。

火山性地震及び火山性微動の発生状況に特段の変化はなく、傾斜計及び GPS による地殻変動でも特段の変化はなかった。

● 薩摩硫黄島 【やや活発な状況（レベル2）】

噴煙活動は依然としてやや活発で、白色噴煙が硫黄岳火口から連続的に噴出しており、噴煙高度は火口縁上概ね 300m で推移した。火山性地震及び火山性微動は少ない状態で経過した。

● 口永良部島 【やや活発な状況（レベル2）】

火山性地震は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている（今期間 46 回、前期間 30 回）。火山性微動は観測されなかった。期間中、監視カメラ（新岳の北西約 4 km に設置）による観測では噴気等は認められなかった。

▲ 諏訪之瀬島 【活発な状況（レベル3）】 <期間外の記述を含む>

前期間の 23 日に爆発的噴火が多発したが（23 日に 41 回観測）、今期間に入ると噴火活動は低下し、爆発的噴火は 24 日 00 時台に 2 回観測されて以降観測されなかった。火山性微動も、25 日昼頃まで振幅のやや大きなものが断続的に観測されたが、その後は振幅も小さく、発生回数も少なくなった。十島村役場諏訪之瀬島出張所（以下、出張所）によると、24 日に火山灰を含む噴煙が火口縁上 1,000m まで上がるのが確認され、集落（御岳の南南西約 4 km）で降灰があった。

その後、しばらく噴火は観測されなかったが、2 日から再び活動が高まり、火山性微動の発生回数が増加し、出張所によると火山灰を含む噴煙が火口縁上 200m まで上がるのが確認された。

3 日（期間外）に入って、02 時頃から爆発的噴火が多発し、10 時までには 93 回観測されている（3 日 10 時現在）。出張所によると、火山灰を含んだ噴煙が火口縁上 400m まで上がり、南東に流れている。集落で爆発的噴火に伴う空振や爆発音が確認されているが、降灰は確認されていない。

表1 最近1か月に記事を掲載した火山及び各火山のレベル

概況番号	対象期間	雌阿寒岳	十勝岳	樽前山	吾妻山		草津白根山		浅間山		伊豆東部火山群	伊豆大島		三宅島	福徳岡ノ場	九重山		阿蘇山		雲仙岳		霧島山(新燃岳)		霧島山(御鉢)		桜島		薩摩硫黄島		口永良部島		諏訪之瀬島	
					記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル		記号	レベル			記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル
9	2/24-3/2	●	●	●	①	①	●	②	◇	①	●	①	●			①	①	①	●	②	●	②	●	②	▲	②	●	②	●	②	▲	③	
8	2/17-2/23	●	●	●	①	①	●	②	◇	①	▲	●	●			①	◇	①	①	①	●	②	●	②	▲	②	●	②	●	②	▲	③	
7	2/10-2/16		●	●	①	①	●	②		①	●					①	①	①	●	②	●	②	●	②	●	②	●	②	●	②	▲	③	
6	2/3-2/9		●	●	①	①	●	②	◇	①	●					①	①	①	●	②	●	②	▲	②	●	②	●	②	●	②	▲	③	
5	1/27-2/2		●	●	①	①	●	②	◇	①	●					①	①	①	●	①→②	●	②	●	②	●	②	●	②	●	②	▲	③	

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第8号	24日 16:00	2月17日～24日15時の活動状況。22日の火山ガス観測結果。レベルは2。
三宅島	火山観測情報第55～61号(1日1回発表)	24日～2日 16:30	前日16時～当日16時の活動状況及び上空の風の予想。
諏訪之瀬島	火山観測情報第4号	27日 11:30	爆発的噴火の発生は少なくなった。レベルは3。